

～特殊効果用煙火ってなに？～



イベント
コンサート
花火大会
ステージショー
etc...



特殊効果用煙火（通称:PYRO=パイロ）とは、コンサートをはじめ、各種イベントや花火大会、ステージショーなどさまざまなシーンで、その主たる演出を効果的に見せるためのアイテムです。

通常の打上煙火（花火）と比較すると、規模や薬量もかなり小さくなっています。

その種類は欲しい現象に応じて、音や色、火の粉等、デザインの組合せは無限に近いのです。

～どんな種類があるの？～



① マイン



② コメット



③ フラッシュポット



④ ファイアーボール



⑤ モーターヒット



⑥ フレームボール



⑦ フレーム



⑧ フリッカー



⑨ ジャーブ



⑩ エアバースト



⑪ サクソン

ひとことに特殊効果用煙火といっても多種多様で、ここで紹介したものは、ほんの一部なのです。

- ① マイン 星の打ち出しによる花束効果を狙う煙火。
- ② コメット 単体の星の打ち出しによるトラの尾、立火効果を狙う煙火。
- ③ フラッシュポット 瞬間的な閃光と煙の効果を狙う煙火。
- ④ ファイアーボール 火炎のボールと煙の効果を狙う煙火。
- ⑤ モーターヒット フラッシュポットより更に強い閃光と大きな衝撃波(音)を伴う煙火。
- ⑥ フレームボール ファイアーボールに比べて煙の少ない火炎のボール効果を狙う煙火。
- ⑦ フレームモータ フレーム(炎)効果を狙う煙火で無煙火薬を使用し、煙は少ない。
- ⑧ フリッカー 点滅トーチの意。色光が一定時間点滅する効果を狙う煙火。
- ⑨ ジャーブ 火の粉の噴出し煙火。現象時間、高さ、幅が選べる。
- ⑩ エアバースト 空中に吊り下げて使用し、球状の火花または星の花を開花する煙火。
- ⑪ サクソン いわゆる“火輪”に属するもので、途中から逆回転する“リバーシング”等がある。

通常の花火大会で使用される煙火との決定的な違いは、それらが使用される環境です。

ステージショーやコンサート、その多くが屋内で開催されます。しかも、ゲストが至近距離にいることが多く、打上げの高さ、音、燃焼残滓など、特殊効果用煙火に求められる性能は非常に精密でなければなりません。

花火はよく“生もの”と言われます。これは毎回同じ花火を同じに開かせることの難しさを表す言葉といえるでしょう。

～音楽と合わせてみる～

【演出アイテムとしての特殊効果用煙火】



最近ではコンピュータを使用して音楽とシンクロさせた演出が花火大会の目玉として登場しています。

ステージショーやコンサートの演出においては、音響や照明、その他の演出機材にシンクロさせて絶妙なタイミングで煙火を打上げます。

これはあくまで演出効果の一環ではありますが、これらすべてのタイミングが合ったとき、その効果は絶大なものになります。

特殊効果用煙火と音楽やその他の演出機材と組み合わせることで、限られたスペース、限られた人々のためだけに最高のドラマ(演出)を提供することが可能となります。